



2014年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2013年7月3日

上場会社名 マックスバリュ北海道株式会社 上場取引所 大
 コード番号 7465 URL <http://www.mv-hokkaido.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 出戸 信成
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 石岡 忠雄 TEL (011) 631-5192
 四半期報告書提出予定日 2013年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2014年2月期第1四半期の業績 (2013年3月1日~2013年5月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2014年2月期第1四半期	21,859	—	43	—	56	—	36	—
2013年2月期第1四半期	20,103	3.2	△27	—	△11	—	△16	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2014年2月期第1四半期	5.38	5.37
2013年2月期第1四半期	△2.45	—

(注) 前事業年度は決算期変更により13ヶ月決算となっております。このため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2014年2月期第1四半期	26,668	6,786	25.4
2013年2月期	26,844	6,777	25.2

(参考) 自己資本 2014年2月期第1四半期 6,764百万円 2013年2月期 6,764百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2013年2月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2014年2月期	—	—	—	—	—
2014年2月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2014年2月期の業績予想 (2013年3月1日~2014年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	43,700	—	440	—	400	—	50	—	7.31
通期	88,000	—	1,400	—	1,300	—	300	—	43.89

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 前事業年度は決算期変更により13ヶ月決算となっております。このため、対前期増減率及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2014年2月期1Q	6,941,350株	2013年2月期	6,941,350株
② 期末自己株式数	2014年2月期1Q	105,351株	2013年2月期	105,304株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2014年2月期1Q	6,836,040株	2013年2月期1Q	6,829,432株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の摘要	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当社は、前事業年度より決算期を従来の1月31日から2月末日に変更しております。これに伴い、当第1四半期累計期間(3月から5月)は、比較対象となる2013年2月期第1四半期(2月から4月)と月度が異なるため、業績の状況の比較は記載しておりません。

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済動向は、政府がデフレ脱却のための施策として、戦略的に進めている経済政策に対する市場の期待感から、円安株高の傾向が進んでいます。北海道地域の経済は、一部に持ち直しの動きが見られるものの、円安による原材料や燃料費の値上げなど、先行きとしてはまだまだ不透明な状況にあります。当社の属するスーパーマーケット業界では、お客さまの生活防衛意識の高まりから節約・低価格志向が継続するとともに、業種・業態を超えた競争は激しさを増し、引き続き厳しい経営環境が続きました。

このような経営環境の下、当社は「基本の徹底と変化への対応」の方針のもと、商圈シェアの拡大に取り組んでまいりました。当第1四半期累計期間においては、お客さまのニーズへの対応として5店舗の活性化を行い、特に「簡単・便利・すぐ食べられる」をコンセプトにまとめたデリカゾーンを強化し、品揃えや売場づくりの見直しを実施いたしました。具体的には、惣菜売場や冷凍食品売場の拡大と、スイーツ、デザート、ベーカリーを含めた品群の品揃えの充実を目的に、3月「マックスバリュ新琴似店(札幌市)」、「マックスバリュ琴似3条店(札幌市)」、4月「マックスバリュ北26条店(札幌市)」、5月「マックスバリュ王子病院店(苫小牧市)」、「マックスバリュ栗山店(栗山町)」を改装致しました。

さらにイオンのブランド「トップバリュ」の品揃えをより一層充実いたしました。具体的には簡単・便利な調理済み食品ブランド“トップバリュ レディーミール”や“調理用カット野菜”など簡便食品の導入拡大や、毎月月初めに開催している「トップバリュ週間」での販売強化、生鮮・惣菜部門における取扱品目の拡大等により「トップバリュ」の売上拡大に努めました。またイオンの電子マネーWAO Nの会員さま拡大による利用率の高まりから、来店客数の拡大を図ることができました。

社内での取り組みでは昨年同様コンプライアンスを強化し、特に食品表示の厳格化、衛生管理、労務管理、防災管理に係る内容を重点実施項目として、毎月の店長会議や、商品部員会議、売場担当者会議を通じての教育機会を増やすことで個人のスキルアップと組織体制の基盤固めに努めてまいりました。

これらの取り組みにより、当第1四半期累計期間の売上高は前年同一期間比106.2%、客数は103.2%、客単価102.9%となり、売上高に対する経費率は前年同一期間に対して0.8ポイントの改善となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、営業収益218億59百万円、営業利益43百万円、経常利益56百万円、四半期純利益36百万円となりました。

なお、第1四半期累計期間の四半期純利益としては、2007年3月期第1四半期以来、7期ぶりの黒字を計上することができました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて1.2%減少し、92億68百万円となりました。これは、未収入金が2億68百万円増加したものの、現金及び預金が4億61百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末に比べて0.4%減少し、174億円となりました。これは、建設協力金が1億11百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて0.7%減少し、266億68百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて2.9%増加し、138億12百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が4億82百万円増加したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べて8.6%減少し、60億69百万円となりました。これは、長期借入金が5億56百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて0.9%減少し、198億82百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて0.1%増加し、67億86百万円となりました。これは、利益剰余金が17百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が18百万円、新株予約権が7百万円増加したこと等によります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

2014年2月期の業績予想につきましては、2013年4月9日に公表しております業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2013年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2013年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,332,664	2,871,441
売掛金	214,961	268,266
商品	2,078,232	2,027,573
貯蔵品	22,510	22,439
繰延税金資産	237,904	290,603
未収入金	2,903,633	3,171,676
その他	617,680	645,217
貸倒引当金	△28,259	△29,205
流動資産合計	9,379,327	9,268,013
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,886,879	4,829,966
土地	4,840,590	4,840,590
その他(純額)	1,044,059	1,058,398
有形固定資産合計	10,771,529	10,728,955
無形固定資産	27,454	25,353
投資その他の資産		
投資有価証券	149,721	175,305
繰延税金資産	1,344,188	1,365,592
敷金	3,088,875	3,078,556
建設協力金	1,849,453	1,737,552
その他	410,751	459,594
貸倒引当金	△176,672	△170,472
投資その他の資産合計	6,666,317	6,646,129
固定資産合計	17,465,301	17,400,437
資産合計	26,844,629	26,668,451

(単位：千円)

	前事業年度 (2013年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2013年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,634,729	7,117,029
1年内返済予定の長期借入金	2,777,449	2,569,058
未払法人税等	482,953	111,793
引当金	26,985	10,074
設備関係支払手形	383,722	202,995
その他	3,116,893	3,801,313
流動負債合計	13,422,733	13,812,264
固定負債		
長期借入金	5,308,467	4,751,714
資産除去債務	496,959	498,894
その他	838,593	819,331
固定負債合計	6,644,019	6,069,939
負債合計	20,066,752	19,882,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,445	1,176,445
資本剰余金	1,206,839	1,206,839
利益剰余金	4,574,842	4,556,927
自己株式	△181,494	△181,574
株主資本合計	6,776,631	6,758,636
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△12,106	6,306
評価・換算差額等合計	△12,106	6,306
新株予約権	13,351	21,303
純資産合計	6,777,876	6,786,246
負債純資産合計	26,844,629	26,668,451

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2012年2月1日 至2012年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自2013年3月1日 至2013年5月31日)
売上高	19,765,952	21,510,822
売上原価	15,369,601	16,908,720
売上総利益	4,396,350	4,602,101
その他の営業収入	337,383	348,749
営業総利益	4,733,734	4,950,851
販売費及び一般管理費	4,761,494	4,907,579
営業利益又は営業損失(△)	△27,759	43,271
営業外収益		
受取利息	8,357	7,224
貸倒引当金戻入額	9,977	6,186
その他	14,907	15,845
営業外収益合計	33,242	29,255
営業外費用		
支払利息	15,621	15,641
その他	986	626
営業外費用合計	16,607	16,267
経常利益又は経常損失(△)	△11,125	56,259
特別利益		
資産除去債務戻入額	16,728	—
特別利益合計	16,728	—
特別損失		
固定資産除却損	8,780	—
特別損失合計	8,780	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△3,176	56,259
法人税、住民税及び事業税	77,346	100,759
法人税等調整額	△63,785	△81,273
法人税等合計	13,561	19,486
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,737	36,773

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。